

# 雑誌掲載記事集 2022年1-3月 FANTIC



最新人気  
トレールバイク  
徹底比較!

## オフロードを楽しみつくせ!!

～もくじ～

### < ダートスポーツ >

1. 最新人気トレールバイク徹底比較! 「オフロードを楽しみつくせ!!」
2. トレールマシン4車徹底比較「トレール最前線2022」  
: FANTIC XEF 250 Trail
3. 4車詳細比較「並べて比べると、長所・短所が見えてくる!」  
: FANTIC XEF 250 Trail
4. 走行性能「やはりスポーティなのは、XEF250Trailだ!」  
: FANTIC XEF 250 Trail
5. 4車徹底比較「シート高は高めでも車体が軽い!」  
: FANTIC XEF 250 Trail
6. メンテナンス「オフロードバイクにとって必要不可欠!」  
: FANTIC XEF 250 Trail

### < GoRide >

7. 大人気! 「ちばるのふらっと食わせろ~!!」  
: Flat Track 250
8. 125ccカテゴリー別インプレッション「理想の相棒を見つけよう!」  
: FANTIC XEF 125 / SYM NH T 125
9. 楽しめるのは、ダートだけじゃない! : FANTIC XEF 125

### < ちんたら > / < バイカーズステーション >

10. 乗っているとやけに見られるんだよね、このバイク。 : CABALLERO Scrambler  
モータリストが取り扱うFANTIC車両フルラインアップ

### < motocoto >

11. 新しいバイクと始める新生活!  
気になる外車IMPRESSION!! : CABALLERO Scrambler 250

### < モトチャンプ >

12. 50~250cc、国内・海外カタログに並ぶ、  
MOTORISTS取り扱いラインアップ!!

### < 二輪車新聞 >

13. 伊ブランドが着実に浸透  
販売店に寄り添う姿勢を貫く/モータリスト (野口代表)

雑誌  
2022年  
1-3月号

特集

## オフロードを楽しむ尽くせ!! トレール最前線2022

# トレールマシン 4車徹底比較

公道走行要件を満たしたオフロードバイクが、いわゆるトレールマシン。排出ガス規制にABSの義務化などなど、色々トレールマシンを取り巻く情勢は変わってきているが、だからこそ今トレールマシンが面白い!  
PHOTO/D.Takeda 武田大祐 TEXT/H.Yatagai 谷田良洋

FANTIC XEF250 Trail

01

イタリア生まれのファンティックが作るトレールマシンは、エンデュロマシン要件を満たすだけでなくABS非装着を実現するモデル。トレールマシン以上、レーサー未満という独特なキャラクターが追求されており、高速移動や街乗りでの使い勝手はともかく、とにかくオフロードでの楽しさを楽しむためのワンライダーにオススメ!

Kawasaki KLX230

02

オフロードの初心者用モデルというコンセプトの低いローガ定番とされるが実は、本来オフ車としての操作性は最高入力角の高い、高シートモデルの方がオフロードバイク本来の動きが伝わり、KLX230はそんな魅力が伝わりつつあった。ちゃんととしたオフロード”を始めたライダーにピッタリの一台

YAMAHA SEROW250

03

オフロードバイクとしては異様に低いシート高が特徴のセロウ。この特性からエントリーモデルに見られがちだが、全ては二輪二足で入り込めるマウンテントレール。つまりはお山での定座性のため、片脚51cmのハンズルが邪魔に阻害せず、またワンカンを引寄せたときに便利な持ち手などなど、お山では最強の相棒になる。

HONDA CRF250L

04

先のモデルチェンジで変化したフレームを手に入れた絶頂のオフロード性能アップを要したCRFシリーズ。…とはいえず持前のツアリング性能はきちんと確保されており、高速道路や街乗りでの使い勝手も非常に良い。パフォーマンスはないツアリングモデルとしてのキャラクターは、この4台のなかで一歩ハラスが取れている

●Honda お客様相談センター <https://www.honda.co.jp/motor/> 0120-086819  
●ヤマハ発動機カスタムコミュニケーションセンター <https://www.yamaha-motor.co.jp/mc/> 0120-090-819  
●カワサキモーターズ ジャパン お客様相談室 <http://www.kawasaki-motors.com> 0120-400819  
●モータリスト合同会社 <https://motorists.jp/> 03-3731-2388

ファンティックが作る  
トレールマシンは、  
ABS非装着を実現する  
異色のモデルだ!

FANTIC XEF250 Trail



# 4車詳細比較

用途が限定されるレジャーとは違い、トレールバイク、つまりナンバードライバーのオフ車は非常に難しいジャンルだ。というのもダートセクションはもうなん、通勤通学などの街乗りはもうなん、高速道路走行もそこそこきなくてはならない。ダートだけでなく、街乗り、やツーリングなど、どこを強化するかでそのマシンのキャラクターが決まる

並べて比べると、  
長所・短所が見えてくる！

FANTIC XEF250 Trail



並べて比べると長所短所が見えてくる

04 HONDA CRF250L	03 YAMAHA SEROW250	02 Kawasaki KLX230	01 FANTIC XEF250 Trail	
2210 (2230) mm	2100mm	2105mm	2148mm	全長
820mm	805mm	835mm	815mm	全幅
1160 (1200) mm	1160mm	1165mm	915mm	全高
830 (880) mm	830mm	885mm	915mm	シート高
1440 (1455) mm	1360mm	1380mm	1425mm	軸間距離
245 (285) mm	285mm	265mm	312mm	最低地上高
27°30'	26°40'	27°5'	25°	キャスター
109mm	105mm	116mm	-	トレール
140kg	133kg	134kg	122kg (燃料除く)	車両重量
2%	2%	2%	1%	乗車定員
2.3m	1.9m	2.2m	-	最小回転半径
水冷4ストDOHC	空冷4ストOHC	空冷4ストOHC	水冷4ストOHC	エンジン
249cc	249cc	232cc	249cc	排気量
76.0×55.0mm	74.0×58.0mm	67.0×66.0mm	77.0×53.6mm	ボア×スト
10.7	9.7	9.4	11.2	圧縮比
24ps/9000rpm	20ps/7500rpm	19ps/7600rpm	-	最高出力
2.3kg-m/6500rpm	2.1kg-m/6000rpm	1.9kg-m/6100rpm	1.8kg-m/6750rpm	最大トルク
34.8km/l	38.7km/l	33.4km/l	27.7km/l	燃費
7.8L (レギュラー)	9.3L (レギュラー)	7.4L (レギュラー)	8.5L (ハイオク)	タンク容量
約1.9L	約2.0L	約2.3L	約2.0L	リザーブ
80/100-21	2.75-21	2.75-21	90/90-21	Fタイヤ
120/80-18	120/80-18 (チューブレス)	4.10-18	120/90-18	Rタイヤ
6速	5速	6速	6速	ギヤ
2.857 (14/40T)	3.200 (15/48T)	3.214 (14/45T)	3.571 (14/50T)	二次減速比
Φ42mm 倒立 (280mm)	Φ35mm (225mm)	Φ37mm 正立 (220mm)	Φ43mm 倒立	Fサスペンション
プリロード無段階 (ストローク280mm)	プリロード無段階	プリロード5段 (ストローク223mm)	プリロード無段階	Rサスペンション
59万9500円	58万8500円	49万5000円	95万円	税込10%価格

04 HONDA CRF250L	03 YAMAHA SEROW250	02 Kawasaki KLX230	01 FANTIC XEF250 Trail
<b>光源</b> プレーキライト以外LED 2021年にモデルチェンジした最新モデルとして、ヘッドライトがウインカー一体型でLEDを多く採用。不安定なのはプレーキライトのみ頑なにバルブを採用することか	<b>光源</b> プレーキ&テール以外バルブ ヘッドライトには今珍しいカットレンズ式を採用。ウインカーは駆動時の振動を要けに1ラバーマウントを採用。テールランプのみ18年のモデルチェンジでLED化された	<b>光源</b> 全てバルブ このモデルの主戦場である東南アジアでは価格への差が大きいらしく灯火類へのLED化の採用はなし。ヘッドライトの大きさは光量不足を補うためとのことだ	<b>光源</b> ウインカー以外LED ヘッドライトをはじめ、リヤ、ナンバードライなど、ウインカー以外の灯火類をLED化。特にヘッドライトはLEDにしたことでスポーツイメージが損なわなかった
<b>メーター</b> 常時表示が、速度計、回転計、燃料残量、時計、ギヤ、切り替え可能表示が、オド、トリップA/B、平均燃費を速度、燃料消費量も表示。またコース走行に便利なストップウォッチ機能もある	小ぶりのデジタルパネルに速度と時計を常時表示。トリップは上部と下部に表示可能で、下部には他にオド、燃料警告灯点灯時からカウントダウンするフューエルトリップを表示する	表示項目は、常時表示の速度計、時計、燃料計に加え、オド、トリップA/Bを切り替え表示。速度は文字が大きく、走行中も非常に見やすい。左の四角い窓にはバッテリー電圧の警告表示が出る	表示項目は、速度計、回転計に加え、オド、トリップA/B、電圧、平均速度、最高速度、回転数などを表示。かなり多機能であることに驚かされる。ちょっとコンパクトで速度表示は見づらい
<b>容量</b> 7.8ℓ (レギュラー) WMTCモード値/燃費 34.8km/ℓ 警告点灯時 残量約 1.9ℓ スチール製タンクでキャップはセンジなし。容量は7.8ℓと低容量だが燃費は概算27.1kmほどとツーリングマシンとしても上々の数値。ただしこのエンジンは高回転時に燃費が悪くなる傾向にある	<b>容量</b> 9.3ℓ (レギュラー) WMTCモード値/燃費 38.7km/ℓ 警告点灯時 残量約 2.0ℓ 9.3ℓと大きなスチールタンクを持つセロー。燃費も良く計算上の後燃可能距離はなんと359km! しかもセローは高速道路航時燃費がよく、実走ではさらに伸びる傾向にある	<b>容量</b> 7.4ℓ (レギュラー) WMTCモード値/燃費 33.4km/ℓ 警告点灯時 残量約 2.3ℓ スチール製タンクで。タンクキャップは給油がしやすいヒンジ付きを採用。容量は7.4ℓと少なめだが、数値上の燃費がよく航時可能距離は概算247kmほどになる。タンクキャップはヒンジ付きだがヒンジ機構はない	<b>容量</b> 8.5ℓ (ハイオク) WMTCモード値/燃費 27.7km/ℓ 警告点灯時 残量約 2.0ℓ 樹脂製のフューエルタンク容量は8.7ℓとオフロードバイクとしては多めで、航時可能距離は概算235kmほどになる。タンクキャップはヒンジ付きだがヒンジ機構はない
<b>ヘルメットホルダー他</b> キーシリンダーに連付きのヘルメットホルダーを装備。乗車に際してはタンクステップの他、リヤエンダーにMGサイズの荷かけフックを装着して、ルーフを「ひばり箱」すると非常に使いやすい	ヘルメットホルダーを左側に装備。フックポイントはタンクステップの他、ハンドルスタンディングが使える。リヤシートから後面にかけての座面もフラットなので搭載に困ることはいない	ヘルメットホルダーを左側に装備。今回の車両はオプションのキャリア付きで、本来はタンクステップ以外ない。ただしシートフレームにMGボルトがあることでアイポルトに換装することが可能だ	ヘルメットホルダー及び、荷かけフック類など、ユーティリティ系の装備は一切なし。乗車工具も簡単なスポーツモデルという割り切り感が強い! 運搬1人乗り仕様なのでタンクステップはない

Trailだ!  
乗り設定のXEF250  
スポーティなのは、一人

FANTIC  
XEF250 Trail



04 HONDA CRF250L	03 YAMAHA SEROW250	02 Kawasaki KLX230	01 FANTIC XEF250 Trail
光軸			
<p><b>光源</b> LED</p> <p>ロー</p> <p>ハイ</p> <p>左右の広域に照らすロービームをベースに、ハイビームはさらに中央部分を重点的に照らす光源を追加。かなり明るい印象を受ける</p>	<p><b>光源</b> ハロゲン</p> <p>ロー</p> <p>ハイ</p> <p>H4タイプのハロゲン電球を光源に、今となってはなかなか珍しいカットレンズで集光している。ハロゲンならではの温かみのある光が特徴</p>	<p><b>光源</b> ハロゲン</p> <p>ロー</p> <p>ハイ</p> <p>H4タイプのハロゲン電球を光源にマルチフレクターで集光。この4モデルの中では一番発光が、ヘッドライトは旧式</p>	<p><b>光源</b> LED</p> <p>ロー</p> <p>ハイ</p> <p>LEDを光源として、ロービームは左右の広範囲を照らし、ハイビームは中央に集約する配光になっている</p>
サスペンション			
<p><b>F</b> 倒立 φ42mm</p> <p><b>R</b> プリロード 無段階式</p> <p>街乗り、高速巡航、オフロードとさまざまなシチュエーションでバランスの良い動きをしてくれる。オールマイティでツーリング向きなキャラクターをサスペンションに設定。ストロークはフロントで260mm、STDで235mmを確保している</p>	<p><b>F</b> 正立 φ35mm</p> <p><b>R</b> プリロード 無段階式</p> <p>良く動くサスペンション&amp;しなやかな車体のおかげで難路でもしっかりと地面に踏ん張ってくれ、路面からのインフォメーションも非常に多いと感じる。その一方で、ダートで速度を上げると立ち上がりは鈍く感じるが、もともとローはハイスピード走行を想定していないと心得よう</p>	<p><b>F</b> 正立 φ37mm</p> <p><b>R</b> プリロード 5段階</p> <p>ベースであるKLX150のしなやかなフレームのキャラはそのままに、サスペンションをしっかりと強化したことで220mmのストロークながら、わりとハードな走行にもそこそこ耐える。コンパクトな車体コストを抑えながら、しっかりとオフロードバイクとして作り込まれている印象だ</p>	<p><b>F</b> 倒立 φ43mm</p> <p><b>R</b> プリロード 無段階式</p> <p>1人乗りと切り替えることで、しなやかなながらも減衰もしっかり効かせたスポーツ走行に向くサスペンションセッティングが施されている。オフロードで乗り回すには動きはしっかりと健闘しているが、ダートセクションにはそれほど自由な、ガレージも良く走り回っていい</p>
ブレーキ&タイヤ			
<p><b>F</b> φ256mm <b>R</b> φ220mm</p> <p>ABS有り</p> <p>ABS装着済みに対し、いち早くオフロード用の介入設定が施されたABSを装着して登場。ABSの作動は一般的なロードモデルよりも遅く介入するメーター、リヤタイヤを強く踏み込むと遅く反応を許容する</p> <p>IRC TRIALS GP</p> <p>タイヤサイズは、F/Rそれぞれ、80/100-21、120/90-18</p>	<p><b>F</b> φ245mm <b>R</b> φ203mm</p> <p>ABSなし</p> <p>ABS装着済みに対し、いち早くオフロード用の介入設定が施されたABSを装着して登場。ABSの作動は一般的なロードモデルよりも遅く介入するメーター、リヤタイヤを強く踏み込むと遅く反応を許容する</p> <p>BRIDGESTONE TRAIL WING 302</p> <p>タイヤサイズは、F/Rそれぞれ、120/90-18、120/90-18でリヤのみチュープレス仕様</p>	<p><b>F</b> φ265mm <b>R</b> φ220mm</p> <p>ABS有り</p> <p>ABS装着済みに対し、いち早くオフロード用の介入設定が施されたABSを装着して登場。ABSの作動は一般的なロードモデルよりも遅く介入するメーター、リヤタイヤを強く踏み込むと遅く反応を許容する</p> <p>IRC TRIALS GP</p> <p>タイヤサイズは、F/Rそれぞれ、2.75-21、4.10-18</p>	<p><b>F</b> φ260mm <b>R</b> φ220mm</p> <p>ABSなし</p> <p>マスターシリンダーはフルードの容量も少なめなコンパクトタイプで、ブレーキホースもスタンレスメッシュ。削り切った設計で、スリッパしたリヤブレーックなハンドル握りを創出している</p> <p>MICHELIN TRACKER</p> <p>タイヤサイズは、F/Rそれぞれ、90/90-21、120/90-18</p>

17 特集 オフロードを楽しむ尽せ!! トレール最新編2022

# 走行性能

試乗しての4車の感想を言えば、やはりスポーティなのは1人乗り設定のXEF250トレールで、次点が初心者向けとはいえシートが高くしっかりオフロードバイクの操作が可能なKLX230。CRF250Lは、新型になってオフロード性能を高めたものの軸足はしっかりツーリングに置いている感がある。セロー250の、スポーティともツーリングとも違う“マウンテンレール”という独自路線は、汎用性の高さにも驚き多くのファンを掴んでいる。…というのが4車のざっくりしたキャラクターイメージだ。さてさてそんな個性は各部に現れてくるのだろうか?

**02 Kawasaki KLX230** 空冷4ストOHC単気筒232cc  
 圧縮比 9.4 最高出力 19ps/7600rpm  
 最大トルク 1.9kg-m/6100rpm



他の250ccモデルよりも200cc近く少ない232ccという絶対的な排気量の差があり、オフロードバイクによくある中低速重視のバルブ型といよりは、大きくアクセルを開けてぶん回しながら走るタイプのエンジンキャラクター。他の3車と同じ速度で走ろうとするとどうしても回転数に頼ることになる。とはいえ現代のトレールマシンは高速巡航性能も必須。高速道路でもしっかりと100km/hまでは出せるようになっていのがすごい。プラグホールは右側にあり整備性も良さそう

**01 FANTIC XEF250 Trail** 水冷4ストOHC単気筒249cc  
 圧縮比 11.2 最高出力 N/A  
 最大トルク 1.8kg-m/6750rpm



高回転までぶん回すことでピークパワーを稼ぐタイプではなく、中低速域でトルクアクションがみやすいという、小粒なエンジンバルブが感じられるエンジンキャラクター。おかげでスタートセクションでのスロットルへのつき良さや、強いやすさは4車の中では群を抜いている。ただしその分、高速巡航性能はトレードオフ。エンジン性能的にはメーター読みで100km/hくらいまでは十分な加速が期待できる。それ以上の速度域は単体的にもプラスアルファという感じ。振動も多く快適とは言えない

**04 HONDA CRF250L** 水冷4ストDOHC単気筒249cc  
 圧縮比 10.7 最高出力 24ps/9000rpm  
 最大トルク 2.3kg-m/6500rpm



もともとロードバイクと共用する形でスタートしたCRF250Lのエンジンだが、2021年のモデルチェンジでは1-6速のギヤ比をオフロード向けにリセット。またリアプロペラをより中低速に合わせたことで、よりダートセクションで楽しいキャラクターへと進化。細かな部分だがドレンボルトを30°傾けたことで、最低地上高もアップしている。一方、6速はロングなままとなっており、登場時のストロークが短くなった高速巡航性能の高さもしっかりと確保している

**03 YAMAHA SEROW250** 空冷4ストOHC単気筒249cc  
 圧縮比 9.7 最高出力 20ps/7500rpm  
 最大トルク 2.1kg-m/6000rpm



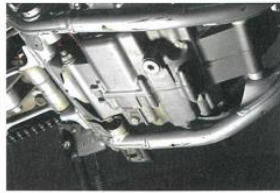
ホマワリの振動とラトルによる走行不能状況を気になく、いい空冷エンジンは、いまだにエクスポージャーライダーに支持されている。セロー250はそんなエクスポージャーの代表格であるが、残念ながら既にファイナルエディション。在庫販売のみという状況になっている。二輪二定で野山に出入る“マウンテンレール”というヤマハが作った造語は、現代では“お山”と言ったほうが通じやすいのだが、そんな二輪二定の世界を駆逐して体得するならばラストチャンスというわけだ



XE F250 Trail  
は車載工具を積まないが、  
軽くなったその分走り重  
視ということは何える。

FANTIC  
XE F250 Trail

04  
HONDA CRF250L



ドレンサイズ 12mm オイル量 1.75ℓ

セロー同様、エンジン直下にドレンボルトがあり、ドレンボルトは最低地上高確保のために高い位置に設置されている。CRF250Lのエンジンは、ロードバイク由来なこともあってだろう、今回取り上げたモデルのなかで、1.75ℓと一番エンジンオイル容量が多かった。



ビスカス式 アクセス簡便さ ★★★☆☆

右のサイドカバーを外すと大きめの蓋がボルト留めされており、開ける仕組みで、ビスカス式のエアクリナーフィルターがあった。XE F250 Trailも同様、開口部が大きいことで内部の清掃もしつかりできるのがいい。



バッテリー容量 7.0Ah (YTZ8-V)  
アクセス簡便さ ★★★☆☆

ボルト1本で外して、車体右側のサイドカバーを外すとバッテリーボックスが現れるアクセスのよさ。バッテリーは容量7.0Ahクラスと、トレールバイクとしてはちょっと大きなサイズを採用している。



チェーンサイズ 520 (シール)  
スプロケット F14/R40T

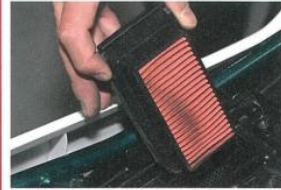
一般的なチェーン調整方式を採用するCRF250L。スイングアームは、押し出し材ではなく鍛造だがアラスを処理、メタルはドリフトスプロケットが40Tと小さめなので、大きくすればかなりキラクラクが変わりそう。

03  
YAMAHA SEROW250



ドレンサイズ 12mm オイル量 1.4ℓ

アンダーカバーはなく、直接ドレンボルトにアクセス可能。位置もサイドスタンドで作業すれば一番効率的にオイルが抜けるよう、エンジン下部左側にドレンボルトを設置、さすがロングセラーモデルだけあって、整備性にも優れている。



ビスカス式 アクセス簡便さ ★★★☆☆

ファンダーにあるボルト2本でシートを外すと、ねじ止めされているエアクリナーボックスの蓋が現れる。引き出し式のフィルターは汚れの状態でそのまま交換するビスカス式。ただしかなり小ぶりな蓋は安そう。



バッテリー容量 6.0Ah (YTZ7-S)  
アクセス簡便さ ★★★☆☆

6角レンチでボルトを1本外し、右側のサイドカバーを剥がすだけでバッテリーボックスが現れる。ただし、セローは車体内部のスペースが狭いので、ヒューズなどのパーツに埋もれるようにバッテリーが収まっている。



チェーンサイズ 428 (シール)  
スプロケット F14/R48T

鉄製各バンプのスイングアームを採用するも、チェーン調整方式は工具をセロー、鍛造製のメタルが取り付けられているおかげで、左右で段差を食われればチェーンラインもズレない。さすがオフロードのヤマハと地りな部分だ。

02  
Kawasaki KLX230



ドレンサイズ 14mm オイル量 1.3ℓ

アンダーガードが装着されているものの、しっかり工具がさせるネールがありそのままオイル交換ができるようになっている。オイルフィルターはエンジン右側に取り付けられている。



湿式 アクセス簡便さ ★★★☆☆

右側のサイドカバーを外すと、エアクリナーフィルターの蓋がボルト止めされている。フィルターはスロットから引き出すタイプでボックス内部の清掃はしにくい。フィルターも洗浄による再利用可能な湿式を採用し経済性は高い。



バッテリー容量 6.0Ah (YTX7-BS)  
アクセス簡便さ ★★★☆☆

キー錠タイプのサイドカバーのおかげで工具をいっさい使わずに、バッテリーボックスなどの縦系にアクセスできる作業性のよさ。ヒューズなどもわかりやすく整理されている印象だ。車載工具はバッテリーの下に収納されている。



チェーンサイズ 520 (シール)  
スプロケット F14/R45T

いかにもコストパフォーマンスがよさそうな鉄製各バンプのスイングアームを採用。チェーン調整はオフロードバイクとしては一般的な方法を採用。チェーンは、シールメタル＆クリップ留めタイプと耐久性よりもパフォーマンス重視の印象を受ける。

01  
FANTIC XEF250 Trail



ドレンサイズ 17mm オイル量 1.5ℓ

エンジン下部のドレンボルトにアクセスするためにはアンダーガードを外す必要があるが、ネジ3本でそれほど面倒な作業ではなく、オイルフィルターはエンジン右サイド下部にあった。



乾式 アクセス簡便さ ★☆☆☆☆

バッテリーが載る場所の底盤がエアクリナーボックスの上蓋としてねじ止めされている。そのためシートとバッテリーをねじる必要はなし。オフロードモデルとしてはアクセスはちょっとしにくい印象を受けた。



バッテリー容量 8.0Ah (YTX9-BS)  
アクセス簡便さ ★★☆☆☆

オフロードバイクとしては大きめのバッテリーを積んでいてXE F250 Trail、アクセスはシート上部の縦系にアクセスする作業性のよさ。ヒューズなどもわかりやすく整理されている印象だ。車載工具はバッテリーの下に収納されている。



チェーンサイズ 520 (メタル)  
スプロケット F14/R50T

いかにも軽そうなるアルミ押し出し材のスイングアームを採用。チェーン調整はオフロードバイクとしては一般的な方法を採用。チェーンは、シールメタル＆クリップ留めタイプと耐久性よりもパフォーマンス重視の印象を受ける。

車載工具

工具そのものの精度や出来は別として、車載工具の数や入り組内容にはメーカー別の、メンテナンスに対する姿勢が現れる。XE F250 Trailのように積んでおけばそれだけで走り重視ということがうかがえるし、CRF250Lのように数が少ないけれど、そもそも「いじるな」ということだ。そういう意味でKLXは、ホール兼用用の22mmレンチに加え、リヤショックのプリロード調整に使うフレックレンチまで搭載しておりかなり充実!

オイル交換

HONDA CRF250L

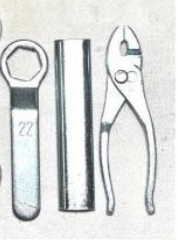
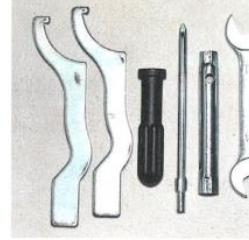


内容: オープンレンチ12/14mm、土ドライバー、ヒューズピンチ、六角レンチ5、6mm、一発数が少なく、可能な作業は、ミラー調整に、サイドカバーを外してのヒューズ&バッテリー、エアクリナーフィルターチェックといったところ。



左後部にキー錠が可能なボックスがあり、書類と車載工具が収められている。タイラップなどの軽いものならさらに入りそう。

Kawasaki KLX230



内容: オープンレンチ17/14mm、土ドライバー、12/10mmソケット、プライヤーに加え、リヤアックス用の22mmメカネに、リヤショックのプリロード調整用フレックレンチ2本までもある。このセットならチェーン調整も可能。

車載工具は、キーを外せるサイドカバーの内部に専用のスペースがある。

エアクリナーフィルター

バッテリーアクセス

チェーン調整

YAMAHA SEROW250



内容: オープンレンチ14/12mm、10/8mm、10/9mmと、ミラーからスポーク調整も可能で、さらにプライヤー、フレックレンチ、19/22mmのメカネ、土ドライバー、六角レンチが、5、6mmとなかなか実用的な入り組となっている。

車載工具は、エンジンの上部に設置したボックス内に収納されている。反対側は外す必要がある。



メンテナンス

低速キヤで高回転までエンジンを回し、土埃が舞うダートを走るオフロードバイクにとって、オーナーによるメンテナンスは必要不可欠。とくに頻繁に行うエアクリナーフィルターの汚れチェックやチェーン引きのしやすさなどは、オフロードバイクには重要なポイントになる。

GoRide  
2022年  
3月号

Flat  
Track  
250

大人気連載！  
ちばるの、  
ふらっと  
食わせろー♪



OFFROAD MACHINE  
**GORIDE**

2022 March  
NO.016

3

表紙撮影：関野 温 / 表紙デザイン：江尻和行  
表紙バイク：SEROW250Final Edition

**温まるー**

**一品目：鴨すき**

ちよっとクセのある鴨肉には冬の甘いネギがよく合う。鴨がネギよってやってくるのはよかったです。そりゃーこの組み合わせは美味しいもんですよ。今回は関東風の割り下を使ってみました。ハンターやって一番幸せを感じる時です。美味しく体に沁みるわー。締めは二八そばで鴨南蛮にして食べよう。

ぐつつくつ 煮込みます

**二品目：鴨のロースト**

青苔の旦那さんはオープンでローストしていただきます。肉の状態を見ると胸に脂肪が2発当たったようです。フランスの市場だと、だいたいこんな感じの頭と水かきがついた状態で売っています。今の日本人にはグロテスクに思えるんですけど僕れですね。ケンタッキーフライドチキンにも元は鴨も足もあつたと思えば氣にもなりません。クリスマスの際に買ったお肉のクラムペーンズがあったのでそれでしたいと思います。

下ごしらえします

オープンで焼きます

美味い美味すぎるっ

焼き上がり！

**三品目：鴨ラーメン**

翌日は鴨2羽のガラを使ってスープを取ります。天然の鴨は鶏のガラと違って2時間煮込んでもあまりエキが出でこない。いいスープが取れました。でも麺がイマイチだったので来期の課題です。

スープをとりまます

鴨肉チャーシューを載せて

**おいしいカモ**

捕ったご馳走はさっそく家に持ち帰り  
鴨パーティーのはじまり♪はじまり♪

**生粋のダートトラッカーを駆る  
さすらいのお料理ハンター**

Chiparu  
キャバレロフラットトラック250をイメージチェンジしたちばるちゃん。カッコよくなっても、アウトドア遊びでガシガシ乗るのがちばる流です。オフィシャルブログ「ちばるのふらっと」aneblo.jp/chiparu125

鴨ハンター歴13年目のちばるが、今嵐期も愛用銃ベネリM3とともにフラットトラック250で出陣！ コガモの群れに遭遇するも、獲物の回収困難の判断から散弾の発射を躊躇するも、突如大型の鴨が飛来！

ちばるの  
ふらっと  
食わせろー

11 月の狩猟解禁日は11月30日と獲物の池を埋め尽くすようにいた鴨も、1月の半ばになると獲物も少なくて現場で暇な時間も多いです。鴨は羽が長いから陸地で撃たない公園の池や街中の川に逃げちゃうんです。よければ、の頭けにバイクじゃないとちょっとついでにいい私の経験があるんで、ちょっと行ってみよう。この場所はキジも生息して、バイクが通くと突発パサパサして、キジが飛んで行くので、犬を持って行ったら撃ち落としていい油もズリ刺して持ってないから、にもならない。現場に着くと川の支の池まで歩いてから30分ほど、バイクを置いて行くので、コガモの群れを発見して、肉が少ないけど、小悪の鴨を捕獲して、1日1日、5羽ほどなので、2つから3つ焼きます。うかかえてみたものの、30分なら射撃場内なので、コガモを捕まえることは出



**獲ったどー**

**毛を取りまます**

**解体しまます**

1月の半ばに美味しそうなマガモを2つ捕るなんて超嬉しい！ 愛銃のベネリは連射速度が速いから一瞬の勝負では食べないです。でも鴨のほうが自然では人間よりも上手です。マガモのご夫婦をゲット！ オスの首首は鴨の王者だけあって羽も綺麗です。雌の羽を綺麗にむしりながら、どことが致命傷だったのか検死します。飛んで逃げた所を下から撃ったので胸に当たってますね。こまこまを処理すると、お肉って感じてしょ。頭と水かきは付いてるけど、胸のノリもまーまーで重さは2羽で2.7kgでした。奥さんの鴨はバラして鴨すきしよう。鴨の旦那は丸焼きローストに決定。マガモの奥さんがバラバラに。こまこまになったらよく見るお肉ですね。

来ても回収が楽水も深い。なので1時間くらい様子を見て、ちよと流れてこないか、1つずつ見つけたら、こまこまに大型の鴨が生懸命に羽ばたいて朝日の方角からうらむつちに向かってくる。こまこまはカルガモかマガモのオススズを、羽の長い身も滑らかな鴨が濡れようと戻りして陸下を始めた瞬間、首首が、がしり、飛んでいった私に気づき大慌てで逃げたので、初獲射！

胸に命中して殺すのを確認して、逃げてもらう1羽の相方に次弾発射！ グラッとしたら、まだ羽ばたいてるの、でも首を入ら羽はたが止まってる、もう1羽の相方は、と数に落ちていく様子を、マガモのオススズを、フラット、これは最高の馳走です。自然恵みを神様からもらって、お肉いただきました。大地に感謝して、帰ってさっさと鴨パーティーだー！

クラッチ操作不要で気軽に乗り回せるAT車。日常の足として使われることの多い125ccクラスには、昔からのAT車の選択肢が豊富だ。現在、普通免許を所持していれば、短時間でAT小型二輪免許を取得することができるので、ここからバイクライフデビューをしてみよう

# AT

オートマチックトランスミッション



スーパーカブシリーズ

宅配業務で使われるモデルは、過去にはいくつかの選択肢があった。しかし、今はホンダ・スーパーカブシリーズだけになっている。ギヤ付ではあるものの、自動遠心クラッチなので、クラッチ操作が不要。スーパーカブシリーズを趣味の乗り物として楽しんでいるライダーも多い



スクーター

AT車の代表格であるスクーターは、気軽に乗り回せるだけでなく、他のカテゴリと比べて荷物の積載能力が高いことも魅力だ。ヘルメットサイズやデザインなど多種多様なモデルがラインナップされていることも、スクーターの特徴。逆にいえば選択肢が多いという面もある

10年ほど前を振り返ってみると、ギヤ付き125ccの選択肢は今ほど多くなかった。だがここ数年で上位排気量にしか存在しなかったカテゴリも登場し、選択肢は着実に増加傾向にある。排気量こそ小さいが、軽くてコンパクトなモデルが多く、扱い切るといふ楽しみを味わえるモデルが多い

# MT

マニュアルトランスミッション



ネイキッド

アップライトなライディングポジションがとれ、街乗りからツーリング、ワインディングでのスポーツ走行まで、オールラウンドに楽しめるネイキッドモデル。現在はフルカウルスポーツよりも選択肢が多い(主流はストリートファイター系になる)



フルカウルスポーツ

250ccクラスで人気のカテゴリ“フルカウルスポーツ”。125ccクラスにも過去には数台の選択肢があったが、ここ数年で減少している。ただ原付二種クラスの中ではパフォーマンスが高いので、十分スポーツライディングを楽しむことができる



レトロ

クラシカルな雰囲気モデルはどの排気量でも、昔から強い人気を集めている。125ccクラスも同様で、現在もいくつかのレトロモデルの選択肢は多い。このカテゴリは国内メーカーよりも海外メーカーが力を入れているのが特徴である



クルーザー

ロー&ロングなスタイルで、昔から強い人気のあるクルーザーだが、原付二種クラスではほとんど選択肢がなく、稀にあっては乗用車に近しいことも、現在はエクスパン・GV125Sがバーなど、海外メーカーのモデルを選ぶことができる



ミニモト

125ccには昔から前後12インチホイールを採用するモデルがラインナップされ、根強い人気を集めている。扱いやすさが売りのだけでなく、スポーツ走行やカスタムも楽しめることから、ビギナーだけでなくベテランも注目しているカテゴリだ



トレール

オフロード走行を意圖したトレールモデルは、重宝もあって小排気量が主流。かつては国内メーカーも125ccクラスにトレールモデルをリリースしていたが、現在は海外メーカーのみが取り扱う。これからオフロードを楽しむの入門用として選択肢の多いモデルだ



アドベンチャーツアラー

アドベンチャーツアラーは、とくに欧州メーカーが得意としたカテゴリで、かつては大排気量車を中心とした。その人気によって、徐々に小排気量車にもラインナップが増えてきた。125ccにもその影響がおよび、SYMがNH125がリリースされた



スクランブラー

大昔はオンロード/オフロードの区別がなかった。その時代にオンロードの走破性を意圖して手を加えたモデルを“スクランブラー”と呼んだ。それを意圖したモデルがここ数年で増えており、125ccクラスにも波及している。レトロの派生版といったところだ

## 125cc 生活のススメ PART2

理想の相棒を見つけよう！  
125ccにもさまざまなカテゴリが存在する。その中から自分の目的に合った相棒を見付けられれば、より幸せなバイクライフが送れるだろう。逆にいえば多いからこそ、選択を誤れば、そこから各カテゴリの代表車種をインプレッション！という傾向にあるかを読み取って、バイク選びの参考にしてほしい

impression



理想の相棒を見つけよう！

125ccにもさまざまなカテゴリが存在する。その中から自分の目的に合った相棒を見つけよう！

<左図下の左端>  
FANTIC XEF 125

<左図下の真ん中>  
SYM NH T 125  
※モータリスト取り扱い製品の一つ

XEF 125

同業株式会社  
Tandem Style  
2022.3 No.238 710円



# XE125

楽しめるのは、  
ダートだけじゃない！

タデムスタイル  
2022年  
3月号

ローダウンが可能なので、足つき性もかなり良くすることができ。フルサイズ125ccトレールで、オンダケでなくオフでもかなり遊べる性能を持った車両はあまりない。ナンバー付きでもっとダートを走りたいという人にはうってつけだ！



ダートだけでなく  
舗装路も楽しめちゃう！



❶赤いアルマイトがかけられたテーパータイプのハンドルバー、ハンドルグリップは同じシリーズのドミノブランド。衝突から顔面や胸を守る小さめのパーカッションが付く



❷二キ分であるXE125のヘッドライトはLEDなのに対し、XE125はハルブになる。ライトカウルはエンデュロレーサーを彷彿させるデザインだ



❸トレールというよりエンデュロレーサーといった座面の横幅が強いシート。表裏にはデザイン的な要素もあるが、お尻のすり下がり防止のためのディンプル仕様になっている



❹シユワウ内のラジエターにサーモスイッチで作動する電動ファンが取り付けられているのはありがたい。シート下側に溜り込んでいるような燃料タンクは樹脂製になる



❺深いダッチや障害物に触れてチェーンがスプロケットから外れないように、異物を挟み込まないよう、ぐるっと回った樹脂製チェーンガードが標準で装備される



❻ツバーをかぶせてない、足がついてもブーツの底を滑りにくくするキザキザが付いたペグ、ブレーキペダルは障害物に接触しないよう、上から下に伸びている

今回乗った機体は標準仕様よりローダウンしてあった。125には兄弟車のモタードがあり、リヤショックの取り付けが二ある。今回の車両はモタード用の低い方になっていて、それによって足つき性がかなりよくなる。所々では安心でき、その反面、オフロードでの正しい姿勢を失ってない。だからキャブで振られるという、ナハスな面が見え隠れする。モタードを優先すべきは個人の自用、オフロード走行好きの私としては足つきより走破性を取るかな。た、この取り付け位置と、フロントフォークの突き出して車高を調整できるのは興味深い。メット、フルサイズ125ccトレールで、オンだけでなくオフでもかなり遊べる性能を持った車両はあまりない。XE125はナンバー付きでもっとダートを走りたいという心を満たせてくれた。

FANTIC XE125

FANTIC ファンティック

CABALLERO

フルラインナップ



ラリー500  
※税別価格 1,276,000円(税込)



フラットトラック500  
※税別価格 1,166,000円(税込)



スクランブラー500デラックス  
※税別価格 1,276,000円(税込)



スクランブラー500  
※税別価格 1,166,000円(税込)



スクランブラー250  
※税別価格 910,000円(税込)



フラットトラック125  
※税別価格 858,000円(税込)



スクランブラー125デラックス  
※税別価格 902,000円(税込)



フラットトラック250  
※税別価格 910,000円(税込)



スクランブラー125  
※税別価格 858,000円(税込)



XEF125  
※税別価格 858,000円(税込)



XMF125  
※税別価格 913,000円(税込)



XEF250トレール  
※税別価格 950,000円(税込)



MOTORISTS  
RIDE FUN TOGETHER since 2020

東京都大田区仲六郎 2-41-8 TEL: 03(3731)2388  
モータリスト・ファクトリー

販売店は全国に60ヶ所! 詳細はWebサイトにて

motorists.jp



モータリストが取り扱う、

FANTIC車両、

フルラインナップ。



乗っているとやけに見られるんだよね、このバイク。  
確かに音は小生意気だし、カラーリングも白、赤、黄色で派手かもしんない。  
ほっといても見られちゃうんだからカッコつける責任がある。  
クルマの後ろで止まったらリアガラスに自分が映っていた。  
広いハンドルをつかんで、胸を張っている。  
さっと、風に髪をなびかせながら走るのが似合う。  
最近、横断歩道を渡る女の子がみんなマスクしてて絵にならないからなおさら。  
<ファンティック・キャバレロ> モータリストから。



MOTORISTS  
RIDE FUN TOGETHER since 2020



CABALLERO Scrambler

乗っていると、

やけに見られるんだよね、

このバイク。

The inside line without fear or favour  
**Bikers Station**  
2022年 No.401  
定価1200円  
発売日 2022年11月10日発売



新しいバイクと  
始める新生活!



「海外メーカーの車両は何かあった時、アフターが大変なのは？」なんてことはひと昔の話。様々なメーカーの車両を取り扱うMOTORISTSから発売されている、FANTICの車両をインプレッション!!

# CABALLERO Scrambler 250

## 気になる外車IMPRESSION!!

**FANTIC CABALLERO Scrambler 250** 唯一無二なスクランブラーモデル

¥910,000 (税込)

アクセルを開けると同時に勢いよく飛び出す開発力のあるエンジンに、幅広いハンドル、自由度の高いポジションで扱いやすい1台。真車で125cc、500ccモデルや、本格的なダート走行も可能な500Rally、前後19インチホイールのFlat Trackなども発売中

国産モデルにはない特別感を所有する!!

バイクを乗る上で一度は乗ってみたい、所有してみたいと考えるのが海外メーカーのモデル。ここではMOTORISTSが取り扱っているFANTICの目玉の2台をインプレッション!!

SYMのJET Xはネット上初となるセンターレストタイプ(またタイン)に、前後ハイチと、国内で絶大な人気を誇るPCXのライバル的存在、FANTICのCABALLERO Scramblerはまるでカスタマイズモデルのような出で立ちと、ダート走行も可能な装備を用意。クラシックな見た目ながらABSも採用され、安全性も高い仕上がり。

その他にもMOTORISTSではLambrettaや、キッズ向け電動オフロードバイクのTORROTなどの車両も取り扱っている。気になる方は是非お店に足を運んでチェックしてみよう!!

**MOTORISTS**  
東京都大田区仲六郷2-41-8  
☎03-3731-2388 <https://motorists.jp>  
営業時間 10:00~18:00 定休日 毎週水曜・水曜

国内/海外モデル

# 50CC MISSION

お気軽ギヤチェンジでスポーツライド!  
 たった1日で取れる原付免許で、変速する喜びを味わえる。国内モデルだとカブシリーズのみだが、海外モデルでは2ストの新車やカスタムしがいのあるモデルがデビュー!

海外モデル

# 125CC

個性的なマシンが集まるホットなクラス  
 伝統派から革新派まで百花繚乱な125cc海外モデルクラスは、ブライズゾーンもローワーからアッパーまでバリエーション豊か。あなたの選球眼でオンリーワンな1台を長打すべし!

## モトチャンプ2022年2月号

FANTIC

### XE50

水冷 2スト キャブ 6速  
 Color: ① ② イタリア

77万円 総モーターリスト ☎03-3731-2388

#### 125/250と基本設計を共有

本格的なエンデューロモデルのXE50は、クロモリ製ペリメーターフレームに水冷2スト単気筒を搭載。フォークはφ41mm倒立式で、リヤショックはリザーブタンク付き。

**SPECIFICATIONS**  
 排: 48.9cc サ: 2100×X-mm シ: 915mm ps: /rpm ト: /kgm /rpm  
 重: 83 (乾) kg ガ: 7.5ℓ フ: ディスク・ディスクタ: 80/90-21・110/60-18



FANTIC

### XM50

水冷 2スト キャブ 6速  
 Color: ① ② ③ イタリア

82万5000円 総モーターリスト ☎03-3731-2388

#### 舗装路重視のモディファイ

XE50をベースに開発されたスーパーモタード。タイヤはこのジャンルで定番になっている前後17インチで、シート座面はXE50より45mm低い。始動はキックのみ。

**SPECIFICATIONS**  
 排: 48.9cc サ: 2040×X-mm シ: 870mm ps: /rpm ト: /kgm /rpm  
 重: 85kg ガ: 7.5ℓ フ: ディスク・ディスクタ: 100/80-17・130/70-17



FANTIC

### XE125

水冷 4スト FI 6速  
 Color: ① ② イタリア

85万8000円 総モーターリスト ☎03-3731-2388

#### スタイリッシュトレール

まるでレーサーのようなシルエットと装備だが、実はしなやかな味付けのトレールモデル。自然なトルク感を発揮するエンジンによって軽快な走りを実現。

**SPECIFICATIONS**  
 排: 124.7cc サ: 2100×X-mm シ: 915mm ps: /rpm ト: /kgm /rpm  
 重: 108 (乾) kg ガ: 7.5ℓ フ: ディスク・ディスクタ: 90/90-21・120/90-18



FANTIC

### XMF125

水冷 4スト FI 6速  
 Color: ① ② イタリア

91万3000円 総モーターリスト ☎03-3731-2388

#### 装備も走りも本物志向

抜群の存在感と質感を持つイタリアンモタード。軽く吹け上がるエンジンに前後17インチタイヤを組み合わせ、その走りは刺激的。

**SPECIFICATIONS**  
 排: 124.5cc サ: 2040×X-mm シ: 870mm ps: /rpm ト: /kgm /rpm  
 重: 97 (乾) kg ガ: 7.5ℓ フ: ディスク・ディスクタ: 100/80-17・130/70-17



FANTIC

### キャバレロスクランブラー 125

水冷 4スト キャブ 6速  
 Color: ① イタリア

85万8000円 総モーターリスト ☎03-3731-2388

#### クラスを凌駕した装備と品質

フレームやサスペンションなどクラスを超えた高品位な装備を誇る。単気筒エンジンは軽快に吹け上がり、125ccとは思えない走行フィーリングが体感できる。

**SPECIFICATIONS**  
 排: 124.5cc サ: 2166×820×1425mm シ: 820mm ps: /rpm ト: /kgm /rpm  
 重: 130kg ガ: 12ℓ フ: ディスク・ディスクタ: 110/80-19・130/80-17



FANTIC

### キャバレロスクランブラー 125デラックス

水冷 4スト キャブ 6速  
 Color: ① イタリア

90万2000円 総モーターリスト ☎03-3731-2388

#### 市街地で映えるクールなカラー

アロー製2速サイレンサーやφ41mm倒立フォークなどの装備やエンジン特性はそのまま、シックなカラーを採用。落ち着いた大人の魅力が感じられる1台。

**SPECIFICATIONS**  
 排: 124.5cc サ: 2166×820×1425mm シ: 820mm ps: /rpm ト: /kgm /rpm  
 重: 130kg ガ: 12ℓ フ: ディスク・ディスクタ: 110/80-19・130/80-17



FANTIC

### キャバレロフラットトラック 125

水冷 4スト キャブ 6速  
 Color: ① ② イタリア

85万8000円 総モーターリスト ☎03-3731-2388

#### スライド走行もお手のもの

その名の通りオーバーバルのフラットダートコースをスライドしながら駆け抜けていくマシン。125ccながら前後19インチホイールなど装備も本格的でその走りは侮れない。

**SPECIFICATIONS**  
 排: 124.5cc サ: 2180×820×1154mm シ: 820mm ps: /rpm ト: /kgm /rpm  
 重: 130kg ガ: 12ℓ フ: ディスク・ディスクタ: 130/80-19・130/80-19



# モトチャンプ2022年2月号

## 海外モデル

# 250CC

下道でもハイウェイでも一番目立とうぜ!

125ccの便利さに高速走行の“余裕”を加えたオトナなチョイス。それがこの250cc海外スクータークラスなのだ。複雑なストリートを編み走り抜けるイメージを体現しよう!

FANTIC  
キャバレロスクランブラー250 水色 4スト FI 4バルブ イタリア

91万円 専モーターリスト ☎03-3731-2388

### 高品質な走りと装備が光る

削り出しのステムやピボット、アロー製マフラーなどを備えたスクランブラーは走っても本格的。エンジンのレスポンスは良好で、高い走破性を実現する。

SPECIFICATIONS  
排：249cc 寸：2166×820×1135mm シ：820mm ps：25.3ps / 8500rpm  
ト：2.24kgm / 6500rpm 重：140kg 径：12吋 F：ディスク・ディスクタ：110/90-19・130/90-17



FANTIC  
キャバレロフラットトラック250 水色 4スト FI 4バルブ イタリア

91万円 専モーターリスト ☎03-3731-2388

### フルカウンターで駆け抜けろ

前後に装備された19インチタイヤやアップマフラーが本質のダートトラックマシンであることを主張。足周りの剛性も高く、コントロール性に優れている。

SPECIFICATIONS  
排：249cc 寸：2180×820×1154mm シ：840mm ps：25.3ps / 8500rpm  
ト：2.24kgm / 4500rpm 重：140kg 径：12吋 F：ディスク・ディスクタ：130/90-19・130/90-17



FANTIC  
XE F250トレール 水色 4スト FI 4バルブ イタリア

95万円 専モーターリスト ☎03-3731-2388

### レースのノウハウをストリートへ

扱いやすいエンジン特性と、しなやかなサス特性を持つファンライドモデル。作り込みが妥協はなく、クオリティが高い走行フィーリングを体感できる。

SPECIFICATIONS  
排：249cc 寸：2100×915×1420mm シ：915mm ps：25.0ps / 7200rpm  
ト：2.4kgm / 7200rpm 重：122 (乾) kg 径：12吋 F：ディスク・ディスクタ：90/90-21・120/90-18



# ア取りアップ!! MOTORISTS に並ぶ、オールカテゴリーの中 250CC、500CC、

## 伊2ブランドが着実に浸透 販売店に寄り添う姿勢を貫く モーターリスト

「モーターリスト」のオーナーは、毎日朝早くお店に到着し、その日の仕事に備え、お客様に笑顔で迎える。その丁寧な接客姿勢が、多くのファンティクオーナーに愛される理由の一つである。

キャバレロスクランブラーは、初心者から上級者まで楽しめる。豊富なカスタムパーツや、快適な乗り心地が、多くのファンティクオーナーに愛される理由の一つである。

魅力的なデザインと、プロモーション活動としてウェブサイトを運営している。SNS（会員制交流サイト）での発信、一方で、広告など、ファンティクオーナーのPRには格好の場である。ファンティクオーナーのPRには格好の場である。ファンティクオーナーのPRには格好の場である。

# 二輪車新聞